

バックナンバー 特集テーマ

*チャイルドヘルス定価

Vol. 25 No. 1 ~ 定価 (本体 1,600 円 + 税) Vol. 26 No. 1 ~ 定価 (本体 1,700 円 + 税)

バックナンバーのご注文は医学書取扱書店または弊社ホームページでお申し込みください。
お問い合わせは弊社営業部まで (TEL 03-3580-2770, FAX 03-3580-2776, e-mail eigyobu@shindan.co.jp)

Vol. 25 No. 1 2022 年 1 月号

◆特集 アレルギーを予防しよう！

Vol. 25 No. 2 2022 年 2 月号

◆特集 コロナ禍の子どもたち

Vol. 25 No. 3 2022 年 3 月号

◆特集 乳幼児健診の最近の話題

Vol. 25 No. 4 2022 年 4 月号

◆特集 子どもと暴力

Vol. 25 No. 5 2022 年 5 月号

◆特集 就学前の排尿・排便 お悩み解決

Vol. 25 No. 6 2022 年 6 月号

◆特集 夏の皮膚トラブル

Vol. 25 No. 7 2022 年 7 月号

◆特集 眠らない子ども～大人が今できること～

Vol. 25 No. 8 2022 年 8 月号

◆特集 育児グッズを見直そう

Vol. 25 No. 9 2022 年 9 月号

◆特集 発達障害につづく二次障害
～子どもの“困った”をやわらげる～

Vol. 25 No. 10 2022 年 10 月号

◆特集 子どもを育てる 親子が育つ
～時代がかわっても大事にしたいこと～

Vol. 25 No. 11 2022 年 11 月号

◆特集 頭痛を訴える子どもに向き合う

Vol. 25 No. 12 2022 年 12 月号

◆特集 今こそ知りたい！ HPV ワクチンのすべて

Vol. 26 No. 1 2023 年 1 月号

◆特集 今こそ再考 “子どもの感染対策”

Vol. 26 No. 2 2023 年 2 月号

◆特集 “時短” アレルギーケア指導の極意、お伝えします

Vol. 26 No. 3 2023 年 3 月号

◆特集 知っておきたい子ども虐待と社会的養護
～一時保護のその先は？～

Vol. 26 No. 4 2023 年 4 月号

◆特集 家庭内の事故予防を考える～大きな怪我を防ぐために～

Vol. 26 No. 5 2023 年 5 月号

◆特集 DCD (発達性協調運動障害) とは？
～「不器用」な子どもの理解と支援～

Vol. 26 No. 6 2023 年 6 月号

◆特集 子どもの熱中症

Vol. 26 No. 7 2023 年 7 月号

◆特集 現場の外からみた「保育」～今までと違う視点で～

Vol. 26 No. 8 2023 年 8 月号

◆特集 起立性調節障害 (OD) を知ろう

Vol. 26 No. 9 2023 年 9 月号

◆特集 知ってる？ 子どものアドボカシー

Vol. 26 No. 10 2023 年 10 月号

◆特集 予期せぬ乳幼児の突然死 (SUDI) ～対策と予防を考える～

Vol. 26 No. 11 2023 年 11 月号

◆特集 子どもへの性虐待・性暴力～子どもを性被害から守るには～

Vol. 26 No. 12 2023 年 12 月号

◆特集 小さく生まれた赤ちゃん～NICU を退院したあと～

Vol. 27 No. 1 2024 年 1 月号

◆特集 きょうだい児支援を考える～障害や病気のある子どもの兄弟姉妹を支える～

Vol. 27 No. 2 2024 年 2 月号

◆特集 DX 時代の子育て～デジタルとのつきあい方を考える～

Vol. 27 No. 3 2024 年 3 月号

◆特集 予防接種について知りたかったのこういうこと！

Vol. 27 No. 4 2024 年 4 月号

◆特集 子どもと安心・安全に旅する極意～どうする!? 旅先の病気や怪我～

Vol. 27 No. 5 2024 年 5 月号

◆特集 子どものウェルビーイングをはぐくむ環境

●子どものウェルビーイングをかたちづくるもの ●子どもの権利を保障する環境が子どものウェルビーイングを高める ●胎生期の子どもの環境 ●保育環境と子ども ●学校風土と子どもの発達 ●子ども時代の逆境的体験と肯定的な体験～ポジティブなベアレンティングを支えるために～ ●養育者のこころの健康～子どもからのまなざしをふくめて～ ●あそびと子ども ●地域の子育て環境と子ども ●テクノロジー・ソーシャルメディアと子ども ●貧困が子どものウェルビーイングに与える影響 ●子どもの環境についての研究のいまと未来 ●子どもの環境のために政策にできること～こどもの居場所づくりに関する指針を例に～

◆My オビニオン 全てのこどもの「はじめの 100 か月」の育ちを支える 5 つのビジョン

◆寄稿 能登半島地震からの教訓～子育て支援者が今、やるべきこと～

◆連載 ●児童精神科医が伝えたい子どものメンタルヘルスのこと

第 5 回 子どもの摂食障害 ●おさえておきたい！ 子どもの歯科事情

第 5 回 歯科の集団健診 ●患者指導がぐっと楽になる！ 動機づけ面接のすすめ 第 5 回 小児心身症診療における動機づけ面接 ●読書で育む共感力と探究心 第 5 回 関西国際学園の日英バイリンガル教育～原作と翻訳本をセットで配架する工夫、両言語で学ぶよさとは～ ●教えて！ あなたの好きなこと

Vol. 27 No. 6 2024 年 6 月号

◆特集 子どもと毒～身の回りには危険がいっぱい～

●ぼくらは毒に囲まれている ●中毒の応急処置 ●子どもの中毒・誤飲を防ぐための傷害予防 ●よくある家庭用品の中毒 ●盲点になる家庭用品の中毒 ●さまざまなタバコ誤飲 ●危険な成人の薬剤 ●子ども用の薬剤で起こる中毒 ●身近な食品に潜む中毒 ●屋外で出会う毒 ●病院に行ったら何をする？～中毒への対処法～

◆My オビニオン 遊びは子どもの主食です

◆連載 ●児童精神科医が伝えたい子どものメンタルヘルスのこと

第 6 回 子どもへの虐待 (1) ～子どもへの虐待の現状とその影響 ●おさえておきたい！ 子どもへの歯科事情 第 6 回 歯の構造と子どもの歯の特徴～乳歯から永久歯への変化 ●患者指導がぐっと楽になる！ 動機づけ面接のすすめ 第 6 回 小児肥満診療における動機づけ面接 ●読書で育む共感力と探究心 第 6 回 探究学習 ③私たちはどのように自分を表現するのか～コミュニケーションを図るための方法、文化的伝統やメディアに関する本～

Vol. 27 No. 7 2024 年 7 月号

◆特集 お腹の中の赤ちゃんがアレルギーにならないためにできること

●卵、牛乳、ピーナッツなどは妊娠中・授乳中は避けたほうがいでしょうか？ ●妊娠中の食事でアレルギー予防にいいものはありますか？ ●妊娠中の喫煙はアレルギーに関係ありますか？ ●帝王切開だとアレルギーになりやすいですか？ ●タニ対策など部屋の環境整備のためにやっておいたほうがいいことはありますか？ ●ステロイドの塗り薬や吸入は妊娠中・授乳中は避けたほうがいでしょうか？ ●親やきょう

バックナンバー 特集テーマ・Contents

だいにアレルギーがあるとアレルギーになりやすいですか? ●ベビースイミングはぜんそく予防にいいですか? ●母乳栄養のほうがアレルギーになりにくいでしょうか? ●生まれた後早くからスキンケアしたほうがアレルギーになりにくいのでしょうか? ●離乳食をはじめの前にやっぱアレルギー検査はやっていいでしょうか? ●子育ては?

◆My オピニオン オトナは入場禁止! 「子どもだけ寄席」で育てられる大人たち

◆寄稿 60歳を過ぎて引き受けた現在進行中の養育里親の経験から

◆連載 ●児童精神科医が伝えたい子どものメンタルヘルスのこと 第7回 子どもへの虐待(2)～社会的養育の現状と課題～ ●おさえておきたい! 子どもの歯科事情 第7回 子どものもやし歯治療の実際～重度むし歯編～ ●患者指導がぐっと楽になる! 動機づけ面接のすすめ 第7回 小児一般外来での動機づけ面接 ●読書で育む共感力と探究心 第7回 本に親しむ・「作家」して作品を書く～ピプリオバトル、カードゲーム、日本語科「作家の時間」、英語科・希望者のブッククラブ～ ●教えて! あなたの好きなこと

Vol.27 No. 8 2024年8月号

◆特集 どう対応? 集団生活での子どもの「困った」行動～発達障害かもしれない?～

●教室の内と外でのちょっと「困った」行動 ●教室を飛び出す・教室に入れない ●教室の中で教員を困らせてしまう ●なぜ、その服がダメなのか? どうして、その服でないとダメなのか? ●怪我をしやす・怪我に気づきにくい ●給食の時間に課題がある～子どもの行動の理由と支援～ ●学校のトイレを使えない ●学校と学童保育の様子が別人のように!? ●学校や学童保育で話せない～場面緘黙とは? ●ルールが守れない・何度言っても同じ間違いをくり返す ●人のものをとってしまう ●受け身になりがちでいつも責められてしまう ●偏食が著しく、なんとなく元気がない ●発達障害ではないかもしれない?～支援者がメンタライズする(心の面からみる)～

◆My オピニオン “How can I fall in love with you?”

◆連載 ●児童精神科医が伝えたい子どものメンタルヘルスのこと 第8回 子どもが「死にたい」と語るとき(1)～子どもたちと自傷行為～ ●おさえておきたい! 子どもの歯科事情 第8回 子どものもやし歯治療の実際～軽度むし歯・予防処置編～ ●患者指導がぐっと楽になる! 動機づけ面接のすすめ 第8回 思春期糖尿病外来での動機づけ面接 ●読書で育む共感力と探究心 第8回 世界はどのようなしくみになっているのか～ライフサイクルや物質の変化、宇宙に関する科学・技術の本～

Vol.27 No. 9 2024年9月号

◆特集 LGBTQ+の子どもたち～多様な性を知ろう～

●多様な性のあり方とLGBTQ+の子ども ●多様なジェンダーを表現する子どもへの医療施設での対応 ●性別違和感をもつ未就学児への医療施設での対応～岡山大学ジェンダークリニックでの臨床実践を例に～ ●児童精神科的に配慮が必要なトランスジェンダーの子ども ●性分化疾患の子どもへの対応と性別違和感 ●性別違和感をもつ子どもと二次性徴抑制療法 ●LGBTQ+の子どもの権利保障～「ジェンダー肯定医療」をめぐる今日の話題～ ●トランスジェンダーの子どもが受診しやすい小児科クリニック ●保育とLGBTQ+～オールジェンダー保育に向けて～ ●トランスジェンダーの子どもたちの声～居場所づくりの現場から～ ●LGBTQ+の子どもたちがカミングアウトされたら ●実践的な包括的性教育～未就学児に「性の多様性」について話すには?～ ●これからのLGBTQ+の子どものライフプラン～生殖医療による家族形成を中心に～

◆My オピニオン 子育て支援としての病児保育とDXの可能性

◆連載 ●児童精神科医が伝えたい子どものメンタルヘルスのこと 第9回 子どもが「死にたい」と語るとき(2) ●おさえておきたい! 子どもの歯科事情 第9回 歯みがき剤と家庭での歯のケア～子どもの歯についての新常識～ ●患者指導がぐっと楽になる! 動機づけ面接のすすめ 第9回 小児アレルギー診療における動機づけ面接 ●読書で育む共感力と探究心 第9回 関西国際学園初等部 Library Newsletter「司書の本棚」より① ●教えて! あなたの好きなこと

Vol.27 No. 10 2024年10月号

◆特集 知っておきたい子どもの痛み～予防法と痛みへのアプローチ～

●子どもにかかわる医療者に知ってもらいたい子どもの痛みの特徴と評価・対応法 ●大学病院における医療行為に伴う痛みの予防の実際 ●ここまで改善してきた! 小児病院における医療行為に伴う痛みの緩和の実際 ●医療行為に伴う痛みの予防は鎮痛薬だけではない! ●子どもの手術の痛みをやわらげる麻酔科医の工夫を紹介します ●子どもの笑顔につながる! クリニックでの予防接種の痛みケア ●知っておきたい

痛みで困っている子どもの痛みの原因とかわり方 ●知っておきたい整形外科受診が必要な痛みの特徴 ●子どもの長引く痛みを受け止め一緒に考える多職種集学的診療 ●長引く痛み対応にかかわる意義と実際～作業療法士の視点から～ ●長引く痛み対応にかかわる意義と実際～小児医療に携わる心理士の視点から～ ●薬剤師が語る～鎮痛薬にも適材適所がある～

◆My オピニオン 特別支援教育の視点から支援を考える

◆連載 ●児童精神科医が伝えたい子どものメンタルヘルスのこと 第10回 子どもがネットで出会った友だちや恋人と会いたいと語るとき ●おさえておきたい! 子どもの歯科事情 第10回 子どもの歯の外傷 ●患者指導がぐっと楽になる! 動機づけ面接のすすめ 第10回 児童精神科における動機づけ面接 ●読書で育む共感力と探究心 第10回 探究学習⑤ 私たちは自分たちをどのように組織しているのか～さまざまな仕事や公共サービス、生産と消費・物流に関する本～ ●教えて! あなたの好きなこと

Vol.27 No. 11 2024年11月号

◆特集 子育て支援に活かそう! アタッチメント

●アタッチメントとは何か、何をもたらし得るか? ●アタッチメントの世代間連鎖 ●アタッチメントの評価 ●アタッチメントを阻害する要因～気になる親子の背景の理解のために～ ●妊娠期から考えるアタッチメント ●アタッチメントの視点からの子育て支援 ●アタッチメントの障害～保育所・幼稚園での気づきと対応～ ●アタッチメントの障害～小学校・中学校での気づきと対応～ ●社会的養護とアタッチメント ●アタッチメントの障害と発達障害 ●非行とアタッチメント

◆My オピニオン 支援が必要な子どもたち

◆連載 ●児童精神科医が伝えたい子どものメンタルヘルスのこと 第11回 「朝、起きられない」と子どもが訴えるとき ●おさえておきたい! 子どもの歯科事情 第11回 口腔内の怪我を防ぐ～歯ブラシ事故・ストローが歯にはまる事故～ ●患者指導がぐっと楽になる! 動機づけ面接のすすめ 第11回 内科外来診療における動機づけ面接 ●読書で育む共感力と探究心 第11回 関西国際学園初等部 Library Newsletter「司書の本棚」より②～関西の図書館巡り 大阪・神戸・西宮・京都～

◆研究・報告 わが国の父親への育児支援状況報告～自治体と企業への調査から父親への育児支援を考える～

Vol.27 No. 12 2024年12月号

◆特集 外国人の子どもを支援する～SDGsの視点から～

●“Leave No One Behind”としての外国人の子どもへの対応の課題 ●日本における子どもの多国籍化・多様化の現状とチャイルドヘルスのあり方～親外国人の子どもの出生動向の分析から～ ●外国語併記の母子手帳の活用 ●多言語サービスの現状①～医療通訳サービス～ ●多言語サービスの現状②～市販の機器を活用した対応と課題～ ●多言語サービスの現状③～専用通訳機器を活用した対応と課題～ ●「やさしい日本語」の外国人医療への活用 ●新生児医療の現場から～宗教、風習も含めた対応と課題～ ●外国人の子どもの診療現場から～現状と課題～ ●自治体としての外国人の母子保健対応 ●みんなの外国人ネットワーク～ヘルスプロジェクトの経験～ ●外国人にも優しい子ども食堂

◆My オピニオン 子どもも大人もしくなくない子育てのために

◆連載 ●児童精神科医が伝えたい子どものメンタルヘルスのこと 第12回 小児科と精神科との連携 ●おさえておきたい! 子どもの歯科事情 第12回 乳歯が生える頃の心配ごと ●患者指導がぐっと楽になる! 動機づけ面接のすすめ 第12回 親御さんから子どもさんへの受動喫煙～親御さんにどのようにお話ししますか～ ●読書で育む共感力と探究心 第12回 探究学習⑥ この地球を共有するということ～自然資源、人権や世界平和に関する本～ ●教えて! あなたの好きなこと

Vol.28 No. 1 2025年1月号

◆特集 コロナ後どうなった? 子どもの感染症

●子どもの感染症どうなった?～新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響～ ●子どもの感染症の疫学情報を集める方法 ●子どものLong COVID ●子どもの感染症診断の今 ●COVID-19流行後も変わらず重要! 薬剤耐性対策 ●COVID-19流行後も変わらず重要! 重症な子どもの診方 ●過剰な感染対策が与える子どもへの影響 ●再考! 子どもの療養環境を考えた病院での感染対策 ●再考! 家庭内での感染対策 ●再考! 子どもへの感染対策教育 ●オンライン診療の役割～子どもの感染症診療における遠隔診療の実践と課題～

◆My オピニオン 迎えたその日から「テリング」～特別養子縁組って「特別なこと」ですか?～

◆連載 ●こどもまんが! スクールソーシャルワーカー 第1回 「こんにちは! スクールソーシャルワーカーです」 ●てんや・わんや・

バックナンバー 特集テーマ・Contents

こどものほんや 第1回 こどもの本屋にできること ●おさえておきたい! 子どもの歯科事情 第13回 永久歯が生える頃の心配ごと患者指導がぐっと楽になる! 動機づけ面接のすすめ 第13回 両親・家族にとつての動機づけ面接
◆特別寄稿 おりがみから多職種連携へ～おりがみのもつ特性を活かす～

Vol.28 No. 2 2025年2月号

◆特集 ヘルスコミュニケーションを考えよう～子どもの健康を守る情報を届けるために～

●情報提供のためのヘルスコミュニケーションとは? ●行動変容のためのヘルスコミュニケーション ●保護者とのリスクコミュニケーション ●医療情報をわかりやすく伝えるコツ ●保護者啓発にナッジは活かせるのか? ●小児保健における行動経済学とナッジの可能性 ●テレビと医療～小児保健医療者は、テレビにどう対応すべきか ●SNSを活用した子どもの健康支援～医療者の役割と課題 ●オンライン相談の取り組み ●絵本を通じた子どもへの働きかけ ●循環器病予防啓発としての“すごいぞ心臓”

◆My オピニオン 児童養護施設で育った私たちが、子ども・若者を支援する立場で思うこと

◆連載 ●こどもまんなか! スクールソーシャルワーカー第2回 子どもと友だち スクールソーシャルワーカー ●おさえておきたい! 子どもの歯科事情 第14回 指しゃぶりとおしゃぶり・口腔機能発達不全症をめくって ●患者指導がぐっと楽になる! 動機づけ面接のすすめ 第14回 病院薬剤師にとつての動機づけ面接 ●てんや・わんや・こどものほんや 第2回 人間にとつての絵本 ●教えて! あなたの好きなこと

Vol.28 No. 3 2025年3月号

◆特集 みんなで取り組む5歳児健診

●5歳児健診 いままで、これから ●5歳児健診の実際を知りたい! ●集団健診(保健センター) ●5歳児健診の実際を知りたい! ●個別健診 ●どうする? 5歳児健診のフォローアップ体制～保育士の立場から ●どうする? 5歳児健診のフォローアップ体制～心理士の立場から ●どうする? 5歳児健診のフォローアップ体制～教育支援の立場から ●どうする? 5歳児健診のフォローアップ体制～保健師の立場から ●どうする? 5歳児健診のフォローアップ体制～児童発達支援センターでの取り組み ●どうする? 5歳児健診のフォローアップ体制～小児科クリニックでできること ●線づつなく乳幼児健診～子どもの育ちをBiopsychosocialに支援する～

◆My オピニオン 遊ぶことは生きること

◆連載 ●こどもまんなか! スクールソーシャルワーカー 第3回 学校のなかの先生じゃない人 ●おさえておきたい! 子どもの歯科事情 第15回 矯正医の探し方 ●患者指導がぐっと楽になる! 動機づけ面接のすすめ 第15回【最終回】子どもの健康にとつての動機づけ面接と今後の発展 ●てんや・わんや・こどものほんや 第3回 なんかいい絵本ないかな

Vol.28 No. 4 2025年4月号

◆特集 食育を見つめなおす～“食”がつくる子どもの健康～

●子どもの成長・発達と栄養～成長曲線でどこまでわかる! ●保育や教育で取り組む「健康教育としての食育」 ●子どもの頃の食習慣、その後どう影響する? ●内科医の立場から ●人生最初の1,000日の栄養～健康の基盤を作るために ●子どもの摂食嚥下機能はどのよ

うに発達する? ●子どもの時間栄養学～生活リズムがなぜ大事? ●日本食を科学する～子どもに受け継ぎたい健康食 ●子どもの健康と食事①～肥満を考える ●子どもの健康と食事②～やせを考える ●家庭で育む子どもの味覚 ●どう考える? 子どもとサプリメント ●多様化した社会と子どもの食環境～これからの健康教育を考える～

◆My オピニオン 小児難聴と私

◆連載 ●子どもの心と体をはぐくむ 住まい空間・あそび空間 第1回【新連載】子どものあそび環境の変化 ●こどもまんなか! スクールソーシャルワーカー 第4回 スクールカウンセラーとどう違うの? ●おさえておきたい! 子どもの歯科事情 第16回【最終回】歯科医院へメンテナンスに行くべき理由 ●てんや・わんや・こどものほんや 第4回 間の本屋

Vol.28 No. 5 2025年5月号

◆特集 子どもの居場所～安全と笑顔を守るために～

●子どもの居場所とは ●子ども食堂と子どもの居場所 ●放課後等サービス～ガイドラインからみる子どもの居場所 ●チャイルドラインと子どもの心の居場所 ●オンラインゲームと子どもたちの「居場所」 ●居場所がなかった子どもの居場所～当事者目線の居場所論 ●法で守る子どもの居場所～性被害を受けた子どものサポート ●余命宣告されたがん患者の子ども居場所 ●災害時の子どもの居場所～東日本大震災の教訓から ●紛争地の子どもと若者の居場所 ●クリニックでつくれる子どもの居場所

◆My オピニオン 児童発達支援事業所の今～諏訪市 WAKUWAKU すたじおの場合～

◆連載 ●子どもに薬を飲んでもらえる! とっておきの服薬指導 第1回【新連載】子どもの服薬指導はまず飲んでもらうこと ●子どもの心と体をはぐくむ 住まい空間・あそび空間 第2回 「こどもの国」 ●こどもまんなか! スクールソーシャルワーカー 第5回 学校に行きづらさ抱える子どもとともに～不登校の子どもに寄り添い、一緒に考える支援 ●てんや・わんや・こどものほんや 第5回 多様性の絵本と絵本の多様性

Vol.28 No.6 2025年6月号

◆特集 医療的ケアが必要な子どもと、きょうだい、家族によりそう

●医療的ケアが必要な子どもと、きょうだい、家族によりそう ●子どもの在宅医療と医療型短期入所 ●子どもと家族の暮らしを支える訪問看護 ●地域における小児在宅歯科医療と口腔ケア ●みんなと一緒に育ちたい! 医療的ケア児のインクルーシブ保育 ●みんなと一緒に学びたい! 医療的ケア児が学校へ行くこと ●子どもを預かる、見守る～児童発達支援・放課後デイ・ホームヘルプなど ●病気のある子どもの「きょうだい」支援～子どもたちが教えてくれること ●医療的ケア児の親として ●医療的ケア児等コーディネーターに期待される役割とは? ●医療的ケア×防災 ●医療的ケア児が地域で暮らし続けるために

◆My オピニオン 私の小児てんかん診療～「させられている治療」ではなく、「している」治療へ～

◆連載 ●子どもに薬を飲んでもらえる! とっておきの服薬指導 第2回 解熱薬～元気なときは使う必要がありません ●子どもの心と体をはぐくむ 住まい空間・あそび空間 第3回 みんなと住む～公共コモンズをつくらう ●こどもまんなか! スクールソーシャルワーカー 第6回 タブレットとジェスチャーで会話しよう! 外国にルーツのある子どもたち～日本語がよくわからない子どもとのコミュニケーション ●てんや・わんや・こどものほんや 第6回 ナンセンス絵本のススメ